



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 キックマン株式会社

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	73,426	3.9	4,917	△5.3	4,342	△11.3	2,348	△6.0
24年3月期第1四半期	70,697	△0.3	5,195	△3.0	4,893	△8.1	2,496	△1.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,143百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 879百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	11.58	—
24年3月期第1四半期	12.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	301,695	158,244	51.9
24年3月期	331,371	167,352	50.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 156,629百万円 24年3月期 165,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	143,800	1.4	9,400	0.4	8,100	△0.9	4,400	0.2	21.83
通期	291,000	2.7	19,000	7.0	16,700	9.6	10,000	11.3	49.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 5 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	210,383,202 株	24年3月期	210,383,202 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	10,599,096 株	24年3月期	5,331,687 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	202,870,944 株	24年3月期1Q	205,121,775 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第1四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の世界経済は、米国で緩やかに景気が回復しているものの、欧州の債務危機は予断を許さず、全体として回復は鈍いものとなっております。日本経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として、個人消費も回復の兆しをみせており、緩やかな回復傾向にあります。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆは苦戦いたしましたでしたが、飲料が売上を大きく伸ばし、食品も堅調に推移したため、前年同期の売上を上回りました。海外については、しょうゆは、北米・欧州を中心に順調に売上を伸ばし、食料品卸売事業も、好調に推移し、現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第1四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	23年4月1日～ 23年6月30日		24年4月1日～ 24年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	70,697	100.0	73,426	100.0	2,728	103.9	—	△1,089	3,818	105.4
営 業 利 益	5,195	7.3	4,917	6.7	△277	94.7	△0.6	△90	△186	96.4
経 常 利 益	4,893	6.9	4,342	5.9	△551	88.7	△1.0	△74	△476	90.3
四半期純利益	2,496	3.5	2,348	3.2	△148	94.0	△0.3	△55	△93	96.3
	USD	81.71	80.40		△1.31					
	EUR	118.11	103.35		△14.76					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	23年4月1日～ 23年6月30日		24年4月1日～ 24年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	36,203	100.0	38,963	100.0	2,760	107.6	—	—	2,760	107.6
	営業利益	1,424	3.9	1,417	3.6	△7	99.5	△0.3	—	△7	99.5
国内 その他	売 上 高	5,144	100.0	5,120	100.0	△23	99.5	—	—	△23	99.5
	営業利益	456	8.9	395	7.7	△61	86.6	△1.2	—	△61	86.6
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	12,301	100.0	12,311	100.0	9	100.1	—	△446	455	103.7
	営業利益	2,252	18.3	2,242	18.2	△10	99.5	△0.1	△73	62	102.8
海外 食料品卸売	売 上 高	22,142	100.0	22,142	100.0	0	100.0	—	△700	701	103.2
	営業利益	1,043	4.7	1,085	4.9	42	104.1	0.2	△7	49	104.8
調整額	売 上 高	△5,093	100.0	△5,112	100.0	△18	—	—	57	△75	—
	営業利益	17	—	△222	—	△240	—	—	△9	△230	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	70,697	100.0	73,426	100.0	2,728	103.9	—	△1,089	3,818	105.4
	営業利益	5,195	7.3	4,917	6.7	△277	94.7	△0.6	△90	△186	96.4
	USD	81.71	80.40		△1.31						
	EUR	118.11	103.35		△14.76						

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、「しぼりたて生しょうゆ」に加え、「いつでも新鮮卓上ボトル」シリーズが順調に拡大し、また、前期より、新しいタイプのしょうゆとして市場に投入した「サクサク食べる香ばし醤油」の新風味や「和風しょうゆジュレ」も売上を伸ばしました。しかし、しょうゆ市場縮小の影響を受け家庭用全体としては前年同期の売上に及びませんでした。加工・業務用分野では、新規開拓及び既存顧客との取組強化を図ったものの、市場環境が厳しく、前年同期を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、前期より導入の「ひんやり口どけサラダ麺つゆ」や「からめる具麺ソース」が好調に推移し、加工・業務用分野も売上を伸ばしたものの、主力商品の「本つゆ」やストレートつゆの既存商品が振るわず、つゆ類全体として前年同期の売上を下回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」や「ステーキしょうゆ」、加工・業務用分野の商品が順調に売上を伸ばし、また、前期より発売した食べるタイプの「サクサク焼肉のたれ」による市場開拓もあり、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、ボックス型の紙容器に食材1品を加えて作る「できたてMy Deli」シリーズ等、積極的な商品開発・店頭販促活動を行い、「洋ごはん☆つくろ」シリーズと合わせて、そうざいの素全体で前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、飲用だけでなく料理用として訴求する等、テレビや雑誌などの各メディアと連携を図りながら、市場拡大につながる販促活動を積極的に実施し、前年同期の売上を上回りました。デルモンテ飲料は、トマトに含まれる成分がメタボリック症候群対策に期待ができるとの研究が発表されたこと等によりトマトジュースが売上を伸ばし、「フルーティトマト」や「ベジスタート」、ギフト商品等も貢献したことにより、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を大きく上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野で、主力商品の「マンジョウ芳醇本みりん」やギフト商品が苦戦したものの、加工用分野で、新規顧客を開拓したこと等により、前年同期を上回りました。国産・輸入ワインも好調に推移し、この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は389億6千3百万円（前年同期比107.6%）、営業利益は14億1千7百万円（前期比99.5%）と、増収減益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断薬、衛生検査薬は好調に推移したものの、ヒアルロン酸が前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は51億2千万円（前年同期比99.5%）、営業利益は3億9千5百万円（前年同期比86.6%）と、ともに前年同期を下回りました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出販売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、業務用分野は昨年の仮需要の反動で落ち込んだものの、家庭用分野は順調に伸長しました。

欧州市場においては、最需要国であるロシアをはじめ、重点市場である、フランス、イギリス、ドイツでも順調に売上を伸ばし、現地通貨ベースで2桁成長を達成しました。

アジア・オセアニア市場は、アセアン地域が引き続き成長を維持していますが、全体としては前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として好調に推移しました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

香港は売上を伸ばしましたが、韓国市場が落ち込み、部門全体として、前年同期の売上を下回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

主力のサプリメント販売が引き続き堅調であること、医師ルート向けの売上が増加したこと等から、現地通貨ベースで伸長いたしました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は123億1千1百万円（前年同期比100.1%）と前年同期を上回りました。営業利益は22億4千2百万円（前年同期比99.5%）と前年同期を下回りましたが、現地通貨ベースでは増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米や欧州、オセアニアでは引き続き日本食ブームが拡大し、現地通貨ベースでは、各地域で順調に推移いたしました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は221億4千2百万円（前年同期比100.0%）となり、現地通貨ベースで増収となりました。営業利益は10億8千5百万円（前年同期比104.1%）と、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は734億2千6百万円（前年同期比103.9%）、営業利益は49億1千7百万円（前年同期比94.7%）、経常利益は43億4千2百万円（前年同期比88.7%）、四半期純利益は23億4千8百万円（前年同期比94.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,062億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ275億8千万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、有価証券が減少したことによるものであります。固定資産は1,954億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億9千5百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産、投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,016億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ296億7千5百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、411億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ200億8百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が減少したことによるものであります。固定負債は、1,023億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千8百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債、役員退職慰労引当金が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は1,434億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ205億6千7百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、1,582億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億8百万円減少いたしました。これは主に、自己株式、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.9%（前連結会計年度末は50.0%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、最近の決算短信（平成24年4月27日発表）により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成24年6月26日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連結（新規） NUTRI-LINK LIMITED （株式の取得）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,941	18,532
受取手形及び売掛金	42,274	43,272
有価証券	20,131	131
商品及び製品	21,377	21,754
仕掛品	9,386	9,466
原材料及び貯蔵品	3,462	3,427
繰延税金資産	4,283	4,561
その他	5,171	5,320
貸倒引当金	△223	△241
流動資産合計	133,804	106,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,241	39,261
機械装置及び運搬具(純額)	33,485	31,930
土地	19,764	19,707
リース資産(純額)	158	139
建設仮勘定	3,356	5,015
その他(純額)	2,163	2,137
有形固定資産合計	99,170	98,192
無形固定資産		
のれん	23,514	23,268
その他	3,365	3,622
無形固定資産合計	26,879	26,890
投資その他の資産		
投資有価証券	59,536	58,282
長期貸付金	589	559
繰延税金資産	1,538	1,612
その他	11,631	11,706
貸倒引当金	△1,779	△1,773
投資その他の資産合計	71,517	70,388
固定資産合計	197,567	195,471
資産合計	331,371	301,695

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,474	15,924
短期借入金	6,412	6,371
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	68	63
未払金	11,756	10,863
未払法人税等	980	1,654
賞与引当金	2,154	901
役員賞与引当金	81	19
環境対策引当金	—	11
災害損失引当金	50	—
工場閉鎖損失引当金	209	209
その他	3,927	5,087
流動負債合計	61,114	41,106
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	17,600	17,600
リース債務	105	93
繰延税金負債	2,688	2,421
退職給付引当金	4,198	4,251
役員退職慰労引当金	1,114	944
環境対策引当金	336	327
その他	6,860	6,706
固定負債合計	102,903	102,344
負債合計	164,018	143,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,209	21,209
利益剰余金	162,149	161,435
自己株式	△5,275	△10,283
株主資本合計	189,682	183,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	△984
繰延ヘッジ損益	15	△1
為替換算調整勘定	△22,618	△25,462
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△924	△882
その他の包括利益累計額合計	△23,920	△27,331
新株予約権	179	179
少数株主持分	1,410	1,436
純資産合計	167,352	158,244
負債純資産合計	331,371	301,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	70,697	73,426
売上原価	41,548	43,162
売上総利益	29,149	30,263
販売費及び一般管理費	23,953	25,345
営業利益	5,195	4,917
営業外収益		
受取利息	26	30
受取配当金	288	371
持分法による投資利益	36	163
受取賃貸料	127	122
為替差益	304	411
その他	230	251
営業外収益合計	1,013	1,351
営業外費用		
支払利息	349	415
デリバティブ評価損	228	596
その他	736	913
営業外費用合計	1,315	1,926
経常利益	4,893	4,342
特別利益		
有形固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	15	—
受取賠償金	—	56
特別利益合計	23	56
特別損失		
固定資産減損損失	328	—
固定資産除却損	9	—
投資有価証券評価損	1	389
ゴルフ会員権評価損	3	6
関係会社社名変更費用	68	—
災害による損失	234	—
その他	81	—
特別損失合計	727	395
税金等調整前四半期純利益	4,188	4,004
法人税等	1,680	1,623
少数株主損益調整前四半期純利益	2,508	2,380
少数株主利益	11	31
四半期純利益	2,496	2,348

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,508	2,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△637
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	△1,691	△2,913
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	24	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△11
その他の包括利益合計	△1,629	△3,523
四半期包括利益	879	△1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	866	△1,167
少数株主に係る四半期包括利益	13	24

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により平成24年6月22日までに普通株式 5,259,000株、4,999百万円の取得を行いました。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,878	2,080	10,671	22,066	70,697	—	70,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324	3,063	1,630	75	5,093	(5,093)	—
計	36,203	5,144	12,301	22,142	75,791	(5,093)	70,697
セグメント利益	1,424	456	2,252	1,043	5,177	17	5,195

(注) 1. セグメント利益の調整額17百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,658	1,998	10,669	22,100	73,426	—	73,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	305	3,121	1,642	42	5,112	(5,112)	—
計	38,963	5,120	12,311	22,142	78,538	(5,112)	73,426
セグメント利益	1,417	395	2,242	1,085	5,140	(222)	4,917

(注) 1. セグメント利益の調整額 △222百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。